



26保予第469号
平成26年9月12日

(一般社団法人) 小郡三井医師会長 様

久留米市長 檜原 利則
(健康福祉部保健所保健予防課)



平成26年度自殺対策事業の後援について (依頼)

平素より、当市の精神保健福祉行政に格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当市では自殺対策の一環として、ストレスやうつ病等の正しい知識の普及を図ることを目的として下記のとおり講演会を開催いたします。

つきましては、本事業の趣旨を御理解のうえ御後援を賜りたいと考えております。御検討よろしくお願いいたします。

なお、御承諾の上は、別添承諾書を9月26日(金)までに御送付くださいますよう併せてお願い申し上げます。

記

1 うつ病対策講演会

日 時：平成26年12月20日(土) 14時～16時

場 所：久留米市民会館大ホール

対象者：一般市民及び関係機関職員等

※内容の詳細については別添事業計画・予算内訳等参照

〒830-0022
久留米市城南町15番地5 (久留米商工会館4階)
久留米市保健所 保健予防課
(担当：大津・田中)
TEL：0942-30-9728
FAX：0942-30-9833

事業計画・予算内訳（案）

1 事業計画

事業名	平成26年度自殺対策事業（うつ病対策講演会）
実施主体	久留米市
後援・協賛・推薦団体等	福岡県、（一社）福岡県精神科病院協会、福岡県精神神経科診療所協会、福岡県精神保健福祉協会、福岡県地域精神保健協議会、福岡県精神保健福祉士協会、福岡県臨床心理士会、（一社）久留米医師会、（一社）浮羽医師会、（一社）小郡三井医師会、（一社）大川三潞医師会、（公社）久留米広域勤労者福祉サービスセンター
事業背景	近年、自殺者数が高い水準で推移しており、久留米市でも毎年60～80人の方が自殺で亡くなっている。自殺にいたる原因は様々であるが、自殺者の75%は何らかの精神疾患を抱えており、その半数はうつ病を患っていたといわれている。しかし、その多くは医療機関への受診にいたっていない現状がある。 このような中、うつ病に対する正しい知識の普及啓発及びメンタルヘルスの意識の向上を図ることが重要となる。
事業目的	市民がストレスやうつ病への対処方法を知り、自分の考えに目を向けながら気持ちや行動をコントロールする認知療法のスキルを学ぶことで、メンタルヘルスの保持・増進を図ることを目的として実施するもの。
日時	平成26年12月20日（土）14時～16時
内容	演題：「こころを元気にするコツ～ストレスに強くなるヒント～」 講師：大野 裕 氏 （独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター長） 座長：堀川 公平 氏（医療法人コミュニテ のぞえ総合心療病院 院長）
会場	久留米市民会館大ホール
入場料	無料
その他（対象者）	一般市民及び関係機関職員等

2 予算内訳

費目	予算額	計算基礎（明細）
共済費	¥ 66	保育労災保険料
賃金	¥ 21,840	一時保育のための保育士賃金（@910円×4時間×6名）
報償費（謝金）	¥ 58,320	講師謝金（@9,720円×3時間×2人）
旅費（費用弁償）	¥ 74,160	東京都特別区⇄久留米市
需用費（消耗品費）	¥ 10,000	紙代等
需用費（食糧費）	¥ 2,640	お茶代（@160円×4本） お弁当代（@1,000円×2個）
印刷製本費	¥ 123,120	チラシ@7×12,000枚×1.08 ポスター@200×150枚×1.08
使用料及び賃借料	¥ 69,000	会場使用料、空調費、備品等
合計	¥ 359,146	

承 諾 書

平成26年度自殺対策事業（うつ病対策講演会）について、後援名義の使用を承諾します。

平成26年 月 日

団体名

代表者名

印

久留米市長 檜原 利則 あて